

くらき永田保育園便り 1月



新年明けましておめでとうございます。お正月はご家族そろってゆっくりと過ごせましたか？どんな初夢を見ましたか？ 今日から職員は仕事モード、子どもは遊びモード全開でスタートします。

さて、2026年の保育教育業界は「好きを育む」が一つのキーワードとなってくるようです。今年は冬のオリンピックやサッカーのワールドカップがあったり、広い世界に興味関心が向きやすい一年になるのではないかと妄想しています。大人も子どもも自分の好きなことを見つけ、存分に遊べるような一年を過ごしていきたいと思いますのでご協力お願いします。

一年最初のイベントは “餅つき” です

今年も、子どもたちが大好きな食の体験イベント「餅つき」を1月14日に実施します。園庭中に響き渡る「よいしょ！ よいしょ！」の掛け声を地域の人たちも冬の風物詩として楽しみにしてくれていますし、何よりもパパやママたちが協力してお餅をついている姿はこどもからみてもたのしい景色のようです。お手伝いの保護者の皆さんには衛生面に関していろいろと協力をお願いすることが多くなりますがご了承ください。

小さな表現者展は見どころ満載です

2月7日（土）は、子どもたちの表現活動の祭典「小さな表現者展」がおこなわれます。子どもたちが遊びを通して様々な素材と対話し、素材の可能性を見つけだして作り上げた作品などを見ているだけで明るい未来を感じてしまう園長です。楽しみ方はいろいろの行事ではありますが、保護者の皆さんも製作物を見るだけでなく、それが出来上がるまでのプロセスや子どもたちとのやり取りなどを保育士から是非聞いてください。

保育園からのお知らせ

嘔吐・下痢の処理をするための、使い古しのタオルが不足しています。ご家庭で不要になったフェイスタオルやバスタオルがありましたら、一枚でも構いませんので事務所までお願いします。また、ティッシュペーパーのご寄付もお願いします。

1月24日（土）に関内フューチャーセンターを会場にして『食を通して地域と保育園をつなげるマルシェ』というイベントのお手伝いをするようになりました。横浜にも魅力的な農家さんがたくさんおり、その農地が家族のサードプレイスになったら楽しいのに・・・といった想いを込めての出会いの場となります。興味のある方は是非遊びに来てください。

各クラスの「流行っている遊び」をお伝えします！



にこにこ

にこにこ組がスタートしてから、9か月が経ちました。最初は保育士との1対1の関わりから始まったにこにこ組のこどもたちですが、少しずつ一緒に生活しているお友だちの存在にも気付き、お友だちとの繋がりもたくさん見られるようになりました。

Tちゃんがチェーンの落とし玩具で遊んでいると、Oくんが近くにやってきて見えています。Oくんに気付いたTちゃんが「どーぞ！」とチェーンを渡してくれました。保育士がもう一つのパスタケースをOくんに渡すと、OくんもTちゃんのお隣で落とし玩具を楽しんでいました。TちゃんはOくんの様子を時折確認しながら、遊んでいましたよ。

他にも、Hちゃんが大きさの異なる重ねコップをカパッとはめ込んで遊んでいると、Sちゃんも棚から同じように重ねコップを二つ取り出し、真似っこしていました。Hちゃんが二つの重ねコップをそれぞれ開くと、Sちゃんもまた、真似っこをして、二人で笑い合っていました。

これからも、同じ空間の中でお友だちの存在を感じながら安心して過ごせるように、私たち保育士も一緒に楽しみながら見守っていきたいと思います。



よちよち

乳児の森で流行っていることはりんごやカメなど様々な形の器に土を入れて形を作る『型抜き』です。保育者が遊んでみせたことをきっかけに少しずつ遊び出すこどもが増えていきました。そして、新しく恐竜や海の生き物の型とプリンカップを用意すると、はまるこどもが急増！保育者と一緒に土を入れてひっくり返し、形が完成すると「できたー！」と満面の笑みを見せてくれます。土の状態によって「今日はうまくできないね」という日もありますが、それも乳児の森ならではのことで、失敗しても「もう一回！」と何度も挑戦してみようとするこどももいます。初めは「先生やって」と保育者にやってもらおうとすることが多かったのですが、最近では自分でやってみようとするこどもが増えていきます。すべて自分でい、形ができたときの達成感は特別なようで、保育者と一緒に行ったときよりも大喜び。見守っている私たちも嬉しい気持ちになります。型抜きブームは今後も続いていきそうです！





すくすく



11月から園庭遊びが始まったすくすく組。乳児の森の土とは違う砂場の砂を使って大きなフライパンなどでおままごとや落ち葉プールをしたり、大型遊具にも挑戦して遊んでいます。憧れの螺旋滑り台では高い壁を登っていかねばなりません。初めは「せんせい、てつだって!」という子どもたちが多く見られましたが、手足の置き方を伝えると「むずかしい」と言いながらも挑戦し、一人で登れるようになる子どもたちが増えてきました。登ることが出来ると嬉しそうに「せんせい!!みて!ひとりでのぼれたよ〜!」と笑顔で手を振っている姿は達成感に満ち溢れています。今では、苦戦しているお友だちがいたら「ここにあしやるんだよ!」とアドバイスをしあげたり、数人で身体を支えてあげたりと、友だちを応援している姿も見られます。また、螺旋滑り台の前に来ると怖いと言っていた子も今では「いっしょにすべろう!」とお友だちと一緒に滑ることも楽しんでます。最近ではハーニャの庭も入ることが出来るようになり、靴を自分たちで脱いだり履いたりしながら、道路にやってくる車を覗いたり、座ってまったりして過ごしています!園庭での子どもたちの挑戦や探索はまだまだ続きます!一緒に楽しんでいきたいと思います。



異年齢

日本の伝統遊びであるコマ。この季節からコマ遊びが始まります。コマを片手に「ひもがむずかしい…」と早速、手こずっている様子がありました。保育士がやり方を伝えながら援助をすると構えの姿勢に入ります。いざ投げるとコマ台から出てしまったり上手く回らず悔しそうな表情。しかし諦めずに「もう1回!」と繰り返していました。持ち方や投げ方がいけないのか、姿勢が違うのかを自分たちで考えながら取り組んでいます。そして挑戦を繰り返していくと「見てみて 回ったよ」と大興奮で周囲に教えてくれました。1度コツを掴むとそこからは回せる回数も増え、コマの魅力にはまっていました。

手回しゴマ、鉄芯コマ、木芯コマとある中で自分の回せるものを見つけ、楽しむとすることも達。今年度中には恒例のコマ大会も行う予定です。そこに向けての猛特訓が今後も続いていくことでしょう。こうご期待!



給食室

新しい一年が始まりました。

今年も、こどもたちに色々な食体験をたくさんしてもらえるよう、給食室も頑張ります！

よろしくお願いいたします。

さて、お正月はみなさんゆっくり過ごせたでしょうか？

お外でたくさん遊ぶのも良いけれど、おうちでのんびり過ごす時間も良いですね！

今月は、そんな日に親子で作れる、こどもたちにも人気の、かんたんおいしいおやつレシピをご紹介します！

材料も少なく、作り方も簡単！だけどおいしい！おうちでも作りやすい、おすすめおやつです。

【お麩のクッキー】

材料（作りやすい分量）

- ・ 麩（小さめ）20g
- ・ バター 大さじ2
- ・ グラニュー糖 大さじ2
- ・ シナモン お好みで

作り方

- ① バターを耐熱容器に入れ、電子レンジにかけて溶かしたところに麩を入れて、バターを全体に絡める。
- ② バターがしっかり絡まったら、グラニュー糖とシナモンをまぶし、シートを敷いた天板に並べ、180℃のオーブンで10分程度焼く。
- ③ こంగりと色が付いたらできあがり！

★きな粉を入れてみたり、ブラックペッパーや粉チーズ、ガーリックパウダーなどで味付けをしたり、アレンジしやすいので、ぜひ色々お試しください。

サクサクとして軽いので、ラスクに近い食感でとても食べやすく、こどもたちも良く食べてくれるおやつです。

おすすめアレンジ見つけたら、教えてくださいね！

木育係より

今月は木育係より、異年齢での最近の野遊びの様子をお知らせします。

冬を迎え、園庭にはたくさんの落ち葉が舞い落ちるようになりました。子どもたちは保育者やお掃除の先生の姿をよく見ており、箒やちり取りを手にとって、落ち葉集めを楽しんでいます。園庭の道具は少し大きいので、箒を持つ子とちり取りを持つ子に自然と分かれ、声を掛け合いながら協力する姿が見られました。落ち葉の遊び方もさまざまで、トロ船いっぱい集めて「プール」を作ったり、葉っぱにボスカで色を塗ったりと、子どもたち一人ひとりの発想が広がっています。特に盛り上がったのは砂場遊びで、砂場に落ち葉を集めてフカフカのベッドにして寝そべり、そこに「落ち葉シャワー」をして友だちと笑い合う姿が見られました。これからも季節の移ろいを感じながら、自然に親しみ、友だちと関わる楽しさを大切にしていきたいと思います。

今月の行事

- 5日 保育はじめ
- 10日 布団乾燥
- 12日 成人の日
- 14日 おもちつき

* おもちは異年齢クラスのみ給食時に食べます。
乳児クラスは、うどんの提供となります。



来月の予定

- 3日 節分・豆まき
- 7日 小さな表現者展
- 11日 建国記念の日
- 14日 布団乾燥
- 23日 天皇誕生日
- 28日 トイ活

